

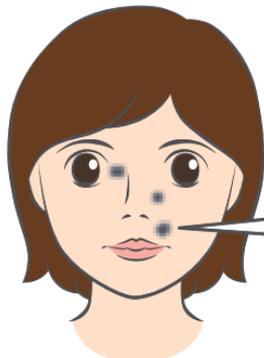
顔のほくろがデコボコで気になります

皮膚がんの「基底細胞がん」の検査を

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

基底細胞ガンの症状



拡大図



色合いがまだらで
表面がデコボコしている

顔のホクロがゆつくりと大きくなり、表面がデコボコしてくることがあります。この症状について立川皮膚科クリニック・伊東秀記院長に聞きました。

「顔に発症する皮膚がんのひとつに『基底細胞と潰瘍状になってきます。初期です。主に顔面の中心部分に好発するのが特徴です。40歳以上の人の発症が多くなります。放置しておくと、皮膚だけでなく筋肉や骨などの深い組織へと浸潤していきますが、リンパ節や内臓への転移は非常にまれなのが特徴です」

「診断方法は？」

「ダーモスコープという特殊なルーペで患部を視診して診断することができます。さらに皮膚の組織検査も行って診断を確定します」

「治療方法は？」

「外科手術で病巣を取り除きます。再発防止のためにがんの病巣よりも一回り大きく皮膚を切除します。病巣が広がるためレーザー治療は避けません。まずは医師に相談を」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2017年3月8日付 「リビング多摩」に掲載されました